

共生社会の実現をめざして校長 安田 信彦

いま、これからの日本の小・中・高等学校の教育を考える話し合いが行われています。それは、次のような課題を解決するために、教育はどうあるべきかを考える必要があるからです。

学ぶ意義を十分に見いだせず、主体的に学びに向かうことができていない子供が多くなっています。我が国の子供の幸福度が国際的にも低いとのデータもあります。大幅に増加している不登校児童生徒をはじめ、特別支援教育の対象となる児童生徒や外国人児童生徒、特定分野に強い興味や関心を示したり、特異な才能のある児童生徒への支援の充実とともに、多様性を包摂※し、一人一人の意欲を高め、可能性を開花させる教育の実現が喫緊の課題です。これらに正面から向き合うことは、我が国の社会及び教育の積年の課題でもある「正解主義」や「同調圧力」への偏りから脱却するとともに、民主的かつ公正な社会の基盤として学校を機能させ、社会の分断や格差の拡大を防ぎ、共生社会を実現する観点からも極めて重要です。

※「包摂」排除しないという意味

難しい文章かもしれませんが、日本の学校には次のような課題があるということです。

- ・子どもたちの「こころ」と「からだ」と「つながり」の状態が良くない。
- ・ちがいを認め合うことができず、生きづらい生徒が増えている。
- ・知識をできるだけたくさん覚え、テストで正解が多いと評価される。
- ・テストの点数で評価され、進路が決まる。
- ・本来の学校は、子どもを成熟した大人にし、共生社会を実現するところである。

これを読むと、一中がめざす「ウェルビーイング」や「共生社会」は、日本全体の課題であることがわかります。

人の生命や権利が大切にされる共生社会を築くことは簡単なことではありません。そこに所属する人が努力しないと実現ができません。幸せも祈って待つものではありません。いろいろな勉強を通して知恵を身につけ、みんなが幸せになるための正しい判断に使うことで実現できるのです。

これからの日本は厳しい挑戦の時代になるといわれています。生き残るためには競争に勝たなければならないという考えもあります。

未来が競争社会になるのか、共生社会になるのかはわかりません。ただ、めざしているのは共生社会です。

社会を創るのは、そこに所属する人の意識と行動です。みなさんが競争に勝つために勉強すれば競争社会に向かい、支え合う社会の一員になる(社会に貢献する)ために、勉強すれば共生社会に向かいます。どちらを選択するのが、一人一人が決めることであり、それがその人の「生き方」になります。



行事予定

3月			
日	曜	学校行事	給食
1	土		×
2	日		×
3	月	特別選抜合格発表	○
4	火		△
5	水	一般選拔出願	○
6	木		○
7	金		○
8	土		×
9	日		×
10	月		○
11	火		○
12	水	公立一般選抜	△
13	木	卒業式予行 金12学学(1, 2年)	△
14	金	卒業式	×
15	土		×
16	日		×
17	月	生徒会役員選挙 金345特	○
18	火	火1234補	○
19	水	木1234補	○
20	木	春分の日	×
21	金	一般選抜合格発表 金1345	○
22	土		×
23	日		×
24	月	大掃除、修了式 特特学	×
25	火	春季休業日開始	×
26	水		×
27	木		×
28	金		×
29	土		×
30	日		×
31	月		○

給食欄の「△」の日に給食が無い学年は、いずれも第3学年となっております。

4月			
日	曜	学校行事	給食
1	火		×
2	水		×
3	木		×
4	金		×
5	土		×
6	日		×
7	月	2, 3年登校日	×
8	火	入学式・始業式・対面式	×
9	水	学級開き	×
10	木	給食開始、3年2測定 離任式(6限)	○
11	金	新入生オリエンテーション 1, 2年2測定	○
12	土		×
13	日		×
14	月		○
15	火	学テ理科・質問紙(PM) 避難訓練	○
16	水		○
17	木	全国学力・学習状況調査	○
18	金	3年6限目進路学習 部活動一斉部会	○
19	土		×
20	日		×
21	月	5限参観	○
22	火	創立記念日	×
23	水		○
24	木	専門委員会	○
25	金		○
26	土		×
27	日		×
28	月		○
29	火	昭和の日	×
30	水		○

※4月の予定については、暫定となっておりますので変更がある場合がございます。予めご承知おきください。